

令和3年12月生まれ

おめでとう1さい

応募方法

誕生日の3カ月前の1カ月間、電話または市ホームページで受け付けています。

(例) 誕生日が令和3年10月の人は、7月に応募してください。

経営企画課広聴広報係

☎(921)2121(内線514) HP ページID:2633



28日 ついき ひゆか 築城 燈釉ちゃん



15日 なかむら かずま 中村 和真ちゃん



2日 たかはし いおり 高橋 良織ちゃん



29日 いとう こうま 伊東 昊真ちゃん



27日 ほしもと みお 橋本 心織ちゃん



10日 ごとう ちひろ 後藤 千裕ちゃん



6日 なかやま しょうと 中山 将翔ちゃん



29日 むとう まな 武藤 愛菜ちゃん



28日 にしやま かいと 西山 魁人ちゃん



8日 たかき ゆうと 高木 湧斗ちゃん



8日 たかき さら 高木 咲良ちゃん



こここ通信



子どもの叱り方



今年も1年が終わろうとしています。子育てをしているとあっという間に時間が過ぎていきますね。その中で、「また子どもを叱ってしまった」って思うことはないですか。

怒るのではなく叱りましょうというのは、よく言われています。「怒る」は感情的に自分のイライラや怒りをぶつけるもの、「叱る」は子どもを思って間違いを伝えることです。大人の伝えたいことを正確に伝えるには、「伝え方」も大切です。

行動を叱り、人格は否定しない

叱るときは、「そんなことして、〇〇ちゃんはダメだね。」「あなたは悪い子だ」など人格を否定するような言葉は使わず、間違った行動に対して叱りましょう。

その場で短い行動で叱る

指示やアドバイスは、具体的に何が間違っていたのかを伝えましょう。「道は危ないから飛び出しません」「今は椅子に座って食べます」というように要点だけをシンプルに伝えましょう。

ほかの子と比較して叱らない

「ほかの子はちゃんとできているのに」「上の子はできたのに」などの言葉は、自分よりほかの子、兄弟姉妹のほうができると感じさせます。自分は何をやってもだめなんだと思い込み、自信を失うかもしれませんので注意しましょう。

言葉や手本で「してほしい行動」を示す

子どもは叱られて行動を止めることができても、次にどうすればいいのかわかりません。「走っちゃダメ」→「歩こうね」、「散らかさない」→「ここに片付けようね」など、叱ったことに対して、次にしてほしい行動を示してあげると、その後の行動がとりやすくなります。

大人とはいえ、感情的になることもあると思います。大切なのはそのあとです。言い過ぎたなと思ったらきちんと謝りましょう。すぐに冷静になれないときは、ちょっとその場を離れて時間を空けてからでも大丈夫です。大人がきちんと謝ることで、子どももそれをお手本にすることができます。



子育て世代包括支援センター(うめっこテラス)